

平成28年度 魚沼市家庭科部 活動報告

部長 小野塚 眞郎

1 研究主題

「学習指導要領の主旨を生かした家庭科授業の工夫・改善」

2 研究の概要

(1) 総会・第1回小学校家庭科部会

①期日 平成28年4月20日

②会場 堀之内中学校

③内容 研究主題・活動計画の協議

(2) 第2回小学校家庭科部会

①期日 平成28年8月5日

②会場 井口小学校

③内容 ミシンの使い方・指導法講習

3 研究の実際（第2回小学校家庭科部会の内容に関わって）

『ミシンの使い方・指導法講習』

(1) ミシンとは

(2) 糸の通し方

- ・電源の入れ方
- ・下糸の巻き方
- ・下糸の入れ方
- ・上糸の出し方
- ・ト糸の出し方

(3) 縫い方（トラブル解決法）

- ・電源が入らない！
- ・真っ直ぐ縫えない！
- ・下糸が3本出てきた！？
- ・糸が絡まって進まない！

(4) 縫い終わり

- ・返し縫い（返し針）
- ・糸の切り方
- ・針の取り付け方
- ・ミシンの収納（電源コード・当て布）
- ・電源の切り方

(5) その他

- ・ミシンの機種ごとの特徴
- ・学校で買って欲しいミシン

(6) 質疑・応答

第1回部会の活動計画の協議では、昨年度好評であったミシンの実習を今年度も継続して実施することが決まった。

家庭科実習の課題として「なかなかうまくいかない。」と部員から多数挙げられた内容の一つがミシンを使った実習であった。そこで、市内数多くの学校を回りミシンの修理や使用のアドバイスをしてくださっているミナガワミシンサービスの皆川藏三様を講師として招き、ご指導をいただいた。

講習内容は、「①ミシンの使い方：上糸下糸の正しい準備の方法、正しい収納方法 ②縫い方：よくあるトラブルの解決方法」の大きく2つの内容である。（詳細については左の図のような流れで行った。）

参加者は、実際に一人一台のミシンで、基本的な操作や扱い方、指導のポイントについて具体的に学ぶことができた。何よりも部員一人一人の指導上困っていることについて、気兼ねなくミシンのプロに聞くことができ、すぐ解決できるよさを味わうことができた。

4 成果と課題

実習後のアンケートでは、次のような意見があった。これらを参考にして、来年度の活動に生かしていく。

◇ミシンについて知らないことが多くあり、詳しく丁寧に指導していただき勉強になった。普段なかなか詳しく知ることのできないミシンの実習が良かった。

◇ミシンの基礎が分かってよかった。すぐに授業に生かすことができる内容だった。来年度への希望としては、30人程度のクラスでミシンの学習の進め方についてのアドバイスがほしい。作業が始まってから「先生！」と呼ばれる回数が減るような指導計画や環境づくりを教えていただきたい。

